

特殊詐欺の主な手口

オレオレ詐欺

電話を利用して、息子や孫、警察官、弁護士などを装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金などを名目にお金をだまし取る手口です

ポイントと対策

- ▶電話でお金を要求されたら詐欺です
- ▶電話番号が変わったと言われたら、前の番号や勤務先に連絡して確認する
- ▶家族しか知らないことを聞いてみる

預貯金詐欺

警察官や銀行職員などを装い、「キャッシュカードが悪用されている」などと言って、キャッシュカードや通帳などをだまし取る手口です

ポイントと対策

- ▶警察官や銀行職員が通帳などを預かったり、回収したりすることはありません
- ▶キャッシュカードは他人に預けない
- ▶暗証番号を教えない

架空料金請求詐欺

メールなどを利用して、インターネットの有料サイト事業者を装い、利用料金が未払いであるなどと言って、お金を振り込ませたりする手口です

ポイントと対策

- ▶請求メールは無視する
- ▶焦ってすぐ電話や振り込みをしない
- ▶相手には絶対に個人情報を教えない、相手の言うことには従わない

還付金詐欺

電話を利用して、市役所や社会保険事務所などを装い、「医療費の還付金がある」などと言い、ATMへ誘導して、お金を振り込ませる手口です

ポイントと対策

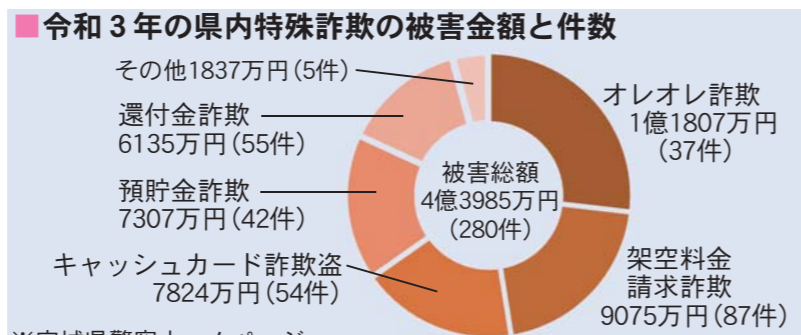
- ▶ATMの操作で還付金が返還されることは絶対にありません
- ▶「携帯電話を持ってATMへ」と言われたら詐欺です

キャッシュカード詐欺盗

警察官や銀行職員などを装い、「キャッシュカードが不正利用されている」などとだまし、隙を見てキャッシュカードをすり替え盗む手口です

ポイントと対策

- ▶警察官や銀行職員が訪問してきて、暗証番号を聞いたり、キャッシュカードを封筒に入れて保管すると言ったら詐欺です
- ▶そのような電話や訪問があったら通報をおくことも重要です。



令和3年 県内特殊詐欺被害金額 4億3985万円

特殊詐欺とは
犯人が電話やハガキ、メールなどで、家族や公共機関の職員を名乗って被害者を信じ込ませ、現金やキャッシュカードをだまし取ったり、医療費の還付金が受け取れるなどと言ってATMを操作させ、犯人の口座に送金させたりする犯罪の総称です。

最近の被害状況
令和3年中の全国の特特殊詐欺被害状況は、被害件数1万4498件、被害金額約281億9946万円にのぼります。このうち、県内の被害件数は280件で、4年ぶりに前年から増加に転じまし



た。被害額も4億3985万円と前年より約1億5千万円増加。架空請求詐欺や還付金詐欺の増加が著しく、新型コロナウイルス禍を背景に「非接触型」詐欺が増えて全体を押し上げたとみられています。

高齢者被害が多い

特殊詐欺の被害者は高齢者の女性が多くを占めています。令和3年中に全国で特殊詐欺の被害に遭った人のうち、88.2パーセントが65歳以上、68.7パーセントが女性という結果が出ています。高齢者の被害を防ぐには、本人の注意だけでなく、周囲の働き掛けが欠かせません。また、本人が行動を起こす前に家族や専用窓口へすぐに相談できるような環境を整えておくことも重要です。

だまされなかったために

警察や市役所からの情報、ニュースなどで毎日のように目や耳にし、これだけ有名になっっているにもかかわらず、なぜ特殊詐欺被害は減らないのでしょうか。皆さんは「自分は絶対にだまされないと過信していませんか。特殊詐欺の対策は、被害に遭う可能性がある本人がしっかりと意識を持って、冷静に対処することが重要です。日頃から「自分だけは大丈夫」という意識を捨て、「もしかしたら引っかけってしまうかもしれない、必ず誰かに相談しよう」という気持ちを忘れないようにしましょう。

「わたしは大丈夫」って
思っていないませんか

現在、特殊詐欺の認知件数が増加しています。年々、手口が巧妙化する特殊詐欺の被害を防ぐため、特殊詐欺の現状と対策を紹介します。

